

2020年

今日は保護者の皆さまのマナーのよさに感激しました。やっぱりごいなあ～大江の保護者は。また「大江の風」をよく読んでくださることにとっても感謝しています。ありがとうございます。



# 大江の風



10月21日  
No.111

たくさん参観して下さってありがとうございました。子どもたちは心地よい緊張感でさらに能力が開花し、成長することができました。

## 明日はいよいよ本番

明日は、いよいよ、ハートフルコンサート本番です。今日は、公開リハーサルに、たくさんお越しいただきありがとうございました。子どもたちの演奏、とても短い時間でしたが、保護者の皆様に生で観ていただくことができ、本当に良かったと思います。教師も子どもも一緒になって、心を一つに練習を行ってきました。学年発表を、ステージで密にならないようクラス発表(1～4年生は2クラス合同)にしたので、いつもと比べると迫力は足りないかもしれませんが、一人一人の努力は例年以上、相当なものでした。だから一人一人の子どもが輝くことができる特別なコンサートになると確信しています。



明日は、全家庭の同意を得ましたので、父母と教師の会でライブ配信をしていただくことになりました。

昨日安心メールで詳しい視聴方法の説明書付きでお知らせしてありますね。事前にツイキャストの動作確認をされていたほうがよいでしょう。また、出番と出番の間、子どもの入れ替わりの時間は、視聴されている方々が退屈されないように、子どもたちが作成したプログラムや曲紹介などを盛り入れ込まれるそうで、相当工夫されているようです。そこも楽しみです。本当にありがたいですね。お仕事等でその時間ライブで観ることができなくても、2日間のみ閲覧可能だそうです。よかったですね。子どもさんと一緒に観てください。多くの方々のご協力のもと、ハートフルコンサートが開催されること、本当にうれしいです。明日のお天気は大雨ですが、心は晴れ晴れとした気持ちで本番を迎えたいと思います。



ひまわり上学年はハンドベルの演奏をします。本番はコンサートホール中に美しい音色が響き渡ることでしょう。

## 5年生で研究授業がありました

道徳の研究授業でした。広がりと深まりのある人間関係を築くために、自分の考えを伝えて相互理解を図るとともに、謙虚で広い心をもつことに関する内容です。「広い心ってどんなことかな?」という学習課題でした。資料は、子どもたちにとっても身近な出来事、ありそうな事柄でとても考えやすかったです。「自分のミスを友達に許してくれ



自分だったらそんなに簡単に人を許せるかな～。この授業を参観して私自身、自分の「寛容な心」について考えさせられました。



あなたが考える広い心とは・・・何でしょう。

なかった。数日後、立場が逆転した時に、自分は友達を許した」という内容です。「どうして許すことができたのか」についてしっかり考えました。いろいろな、本当に多面的多角的な意見が出てきました。「人はみんな違うから、他の人を理解し寛容の心が大事だ」というような考えも出ました。すごい!子どもたちが深く深く、自分の経験も交えて考え、発表していました。「許した方が今よりもっとよりよい人間関係になれる。」「誰だって失敗はある。」「相手には腹は立つけれど、自分も同じ思いをしたから許すことができる。」「・・・そして担任の先生が「悔しい気持ちがあるけど我慢して許すんだね。じゃあ広い心って我慢することなの?」「そんなに簡単に相手の気持ちになれるの?」など揺さぶりの発問をしました。みんなそのたびにう～んと考えます。45分間「考える道徳」が展開されました。友達の意見を聞いたり取り入れたりすることができる力、そして自分の考えを伝える力を感じました。「広い心とは何か」・・・大人でも難しい命題に、5年生が真剣に取り組む姿に感心しましたよ。講師の先生にも、大江の5年生の考える姿をととても褒めていただきました。



二人組で役割演技をしながら考えを深めていました。